



## 初夏の恒例行事 “伊勢ノ海部屋力士の慰問”

今年で5度目となる「伊勢ノ海部屋力士の慰問」ですが、7月1日に行われた慰問では、勢関・錦木関・漣（さざなみ）さん・闘王（ときおう）さんという過去最多の4名の力士に来て頂きました。玄関ホールに集まった患者さんからは「やっぱり大きいねえ。」と、身体の大きな力士の登場に驚く声も聞こえました。

### ▲1Fロビーにて力士たちへ質問タイム

イベント内では、各力士の紹介の後、名古屋場所の意気込みを一人ずつ伺い、毎年恒例となっているQ&Aコーナーも行いました。『本場所を生で見る魅力は？』という質問には錦木関が答えて下さり、『裸同士のぶつかり合いや、会場の熱気を肌で感じることができるので、テレビでは分からない臨場感がありますよ。』と教えて下さいました。また、土俵の近い席は一席数万円するという裏話も聞くことができました。

普段知ることのできない力士のプライベートトークに、患者さんも笑顔が絶えませんでした。また、力士の方々へ花束の贈呈を行う場面では、感動の余り涙目になる患者さんも見え、笑いあり涙ありのイベントとなりました。

イベント終了後には、1階リハビリ室と各病棟を回って頂きました。力士の登場を拍手で迎え、時には嬉しさの余り涙を流される患者さんもみえました。「写真撮って！」と携帯を片手に握りしめ、力士に声をかける患者さんのとても若々しい表情や、一生懸命に握手を求める患者さんに、『これで良くなりますよ。』と声をかける勢関の姿もみられ、とても雰囲気の良い慰問となりました。



▲患者さんから花束贈呈



▲病棟訪問し患者さんを激励する勢関



▲患者さんの車椅子を押す錦木関

来年も、皆さんのお越しをお待ちしております。ありがとうございました！

総務課 飯田 瑞希